

Dr.ひろみの

ハッピー子育て

か る た

ひ ろ ば

みなさん、こんにちは！みなさんは吃音(きつおん)を知っていますか。最近、「注文に時間がかかるカフェ」という吃音当事者が開く1日カフェを運営する方と話をしました。吃音を隠すために、苦手な音の言葉を瞬時に言い換えたりすること、わかっているも手を挙げて発言をしないこと、学校に行くのをやめてしまうこと。学校や友人、時に家族の無理解で傷ついてしまい、生きるのがしんどくなっていること。吃音とは何か。知ること視野が広がり、人に優しくなれるのかなと思います。



☆読み手☆
鈴木 裕美 (すずき ひろみ)
香川大学医学部 小児科専門医

42

子どももいま何をすればなりたい大人になれるのか
きつと自分で考えたくなる



41

わたしたちが早く大人になりたい
子どもが思える大人になれたなら



今月のかるた解説



昔、息子にもっとしっかりしてもらいたいと思い、「大人になったらこんなに大変なんだ、社会は甘くないんだ、だから今しっかり取り組まないといけない」と小学生の息子に説教したことがありました。すると「えーそれなら大人になりたいくない」と悲しそうな顔で言われました。それを聞いて、「失敗した！大人になるのが楽しみにすることが先だった」と反省したことがありました。大人になることが楽しみでない、どうして今、頑張ろうと思えるのでしょうか。 暗い未来しか見えないなら、今の子ども時間を引き延ばしたくもなりますよね。

大人は私も含め、すぐ子どもに説教したくなるものです。でも、きっとそれは必要ないんだと思います。大人を見て、「いいなあ」とあこがれる気持ちが生み出せたら、自分から何とかしたくなるものです。もちろん、すぐ答えは見つからないとは思いますが、答えを探そうとする気持ちや行動力が生きる上で大事だと思います。大人もまだ人生途上。「完成した立派な大人」はおもしろくないかもしれません。これから何をして楽しむのか、何に挑戦しようか。「楽しそうな大人」を一緒に目指しませんか。